

三学期のスタート

明けましておめでとうございます。

元日は好天に恵まれ、日本中で初日の出を拝むことができたようですね。

ご家族おそろいで新しい年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

9日朝、学校には久しぶりに子どもたちの明るい声が戻りました。やはり、

学校はこうでなくては、と思います。明け方からの雪が降り続いており、寒い寒い朝となりました。長いお休みの間、ご家庭でぬくぬくと過ごしていた子どもたちには、かなり気持ちの重い初日だったのではないのでしょうか。

登校した子どもたちの様子をみました。教室に入って、休みの課題等を提出したり、友だちと休みの話をしたりする子が大半でした。なかには小雪が舞い散る中を、新年早々のマラソンに向かう子どもや、グラウンドに出て新雪の上でサッカーを楽しむ子どももいました。その元気に感心しつつも、つい「足を滑らさないように」「新年早々に風邪をひかないように」などと心配になってしまいました（老翁心）。子どもはかぜの子！ですね。

始業式では、時間前から入場した学年順に腰をおろし、口を閉じて開始を待つ、落ち着いた雰囲気がありました。

1・3・5年の代表児童が、新年や3学期にがんばりたいことの発表をしました。明るいあいさつをする、集団行動を大事にする、クラブや児童会で活躍する、ふわふわ言葉を大切にするなど、具体的な言葉で発表できました。代表児童の発表はもちろん大切です。そしてそれを聞く子どもたちが、このことをとおして自



分の「めあて」を明確にできたら、さらにありがたいです。よいスタートが切れました。

わたしは、「一年の計は春にあり」という話をしました。一年間のスタートである1月の過ごし方を、まずは大切にしたいと考えます。

45日間を一日一日大切に、全校のみなさんとともに実り多き3学期としたいと思います。

校庭遊具を整備していただきました

「いつまでブランコ使うことができないの」と、悲しそうな表情で尋ねられる度に、返事に窮していました。前述させていただいたとおり、休み時間に体を動かして遊ぶことができることや、外遊びが大好きな子が多いことは、麻績の子どもによさです。わたしは、そんな子どもたちが大好きです。

整備点検の結果、子どもが今後も安全に遊び続けるために、手を加える必要がある箇所が指摘されて、村でも対応を急いでくださっていました。この休み中に業者さんが入り、もう間もなく使用できるところまでこぎつけてくださいました。



「この寒いのに…」と思うこの真冬でも、きっと子どもたちがたくさん遊具を使って遊ぶだろうと思っています。その幸せそうな表情を見られることが待

ちどおしくて、わたしも、その日を待ちわびています。整備していただけたことに感謝申し上げます。

「卒業写真」

卒業文集の原稿依頼も受けています。卒業記念撮影も済みました。春が近づくことは嬉しいのですが、子どもさんの卒業が近づくことは、とても嬉しくもあり、実はとても切なくもあるのです。

